

(様式第4号)

## 塩田地域協議会 会議概要

1 審議会名	(平成26年度)第10回 塩田地域協議会
2 日時	平成27年1月22日(木) 午前10時から午後0時10分まで
3 会場	塩田公民館 小ホール
4 出席者	南雲会長、片桐副会長、工藤委員、窪田富委員、窪田八委員、甲田委員、坂田委員、塩沢委員、竹内委員、西川委員、西澤委員、早坂委員、林委員、増澤委員、松崎委員、水野委員、山極郁委員、山部委員 合計18名
5 市側出席者	滝沢 市民参加協働部長(上田地域自治センター長) 塩田地域自治センター；海瀬 センター長、倉澤 地域振興政策幹、志摩 センター長補佐
6 公開・非公開	(公開) ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成27年1月23日
協 議 事 項 等	
1 開 会 (副会長)	
2 あいさつ (会 長)	
3 協議事項	
(1) 各専門委員会からの報告	
(地域福祉委員長)	住民支え合い強化の必要性について資料に基づいて説明。コミュニティー・ネットワークの構築推進について提案。
(地域振興委員長)	諮問案件について議論したので、次の協議事項の中で意見を報告したい。
(安全安心委員長)	今回報告する事項は無い。
(2) 第二次上田市総合計画「地域の特性と発展の方向性」について(諮問)	
(市民参加協働部長)	諮問文書の読み上げ。(会長に手渡し) 事前に送付した素案に基づいて議論の上、答申をお願いしたい旨説明。
(委員)	地域の特性の項目中、別所温泉は別立てで標記した方が良い。また、「穀倉地帯である農業基盤」の特性があるのに、取組の内容に記述が無いのは如何なものか。
(委員)	の緑農ゾーン...の「松茸山の保全」については、現況として危機的状況がある中で、全体の一部ではなく、最優先すべき項目として強い表現とした方がよい。
(委員)	取組の内容の項目中、は「健康で文化的な...」とした方がよい。また、の「安心・安全...」の視点中、道路と公共交通だけではなく、防犯・防災や子育て支援、定住促進の視点を入れた方がよい。
(委員)	第一次の計画においても、市全体としての施策・方向性があり、地域としての方向性とはおもえない項目があった。塩田地域としての方向性に絞るべきではないか。
(委員)	市全体の施策・方向性があっても、例えば、地域としてそれらを積極的に支持あるいは協力・協働するという視点をもっている要素であれば、記載すべきでは。
(委員)	地域の特性として自然環境を謳っているので、全体的に自然を大切にするという視点を強調した記載とすべきと考える。
(会長)	今日議論していただいた内容を受けて、事務局に修正案を作成していただいて、次回、再度議論することにしてよろしいか。
(委員)	異議なし。
(3) その他	
	次回「塩田協議会だより」の発行は3月16日。各専門委員会に原稿を依頼。
4 その他	
	次回の日程等 平成27年2月19日(木)午後1時30分から
5 閉 会	
	以上確認の上、午後0時10分閉会した。